

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
感染生体防御学	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	金子 博司※
授 業 概 要					
微生物学の歴史を知り、先人の微生物学における貢献に思いを馳せるとともに、微生物学や免疫学の基礎となる微生物の特徴、形態を学び、種々の微生物による感染症と生体防御機構について全般的に理解する。2年時の微生物検査学、免疫検査学の理解に寄与できるようにする。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物学の基礎となる各種微生物の特徴を説明できる。</li> <li>・微生物を安全に扱う上で必須となる滅菌と消毒、化学療法について説明できる。</li> <li>・感染症の種類、各微生物における感染の特徴について説明できる。</li> <li>・生体防御機構と感染症における免疫について説明できる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	微生物学Ⅰ：微生物学とは、微生物学の歴史、病原微生物の分類				金子 博司※
2	微生物学Ⅱ：微生物の形態と構造、細菌の代謝と発育				
3	微生物学Ⅲ：細菌の観察法と染色法、細菌の発育条件と培養、細菌培養法				
4	微生物学Ⅳ：遺伝・変異、プラスミド、感染症と遺伝子診断				
5	微生物学Ⅴ：滅菌および消毒				
6	微生物学Ⅵ：化学療法とワクチン				
7	映画「Outbreak」（合同）				
8	微生物学Ⅶ：病原体別感染症の特徴				
9	生体防御機構Ⅰ：免疫とは、自然免疫				
10	生体防御機構Ⅱ：獲得免疫、抗原認識				
11	生体防御機構Ⅲ：細胞性免疫と体液性免疫				
12	生体防御機構Ⅳ：予防接種、免疫血清、免疫グロブリン療法、免疫寛容				
13	微生物学Ⅷ：正常細菌叢、病原性と抵抗力、細胞内と細胞外寄生性菌、感染と発症				
14	微生物学Ⅸ：バイオハザード、医療関連感染（HAI）と新興感染症				
15	微生物学Ⅹ：感染症の免疫学的診断、細菌検査の精度管理				
学 習 方 法					
・教科書及び配付資料をもとに、予習及び復習をするとより理解できる。					
評 価 方 法					
・定期試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床検査学講座 臨床微生物学 医歯薬出版					
〔参考書〕 臨床検査学講座 免疫検査学 第2版 窪田 哲朗他 医歯薬出版 わかる！身につく！ 病原体・感染・免疫 藤本秀士（編） 南山堂					